

始めよう!

職場のリスクアセスメント

最初のステップは？

- ・業務と一体化する計画の支援
- ・手厚いスターターキットの提供

進め方は？

- ・実際に少しやってみせて納得
- ・躓く場面での全力バックアップ

結果の活用は？

- ・人を動かす優れた方策を提案
- ・関係者への説明を専門サポート

長岡技術科学大学の北條理恵子先生と産業安全に
ウェルビーイングを活かす研究を行っています。
是非アンケートにご協力お願いします。



アンケート URL

株式会社アトリエ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5
TEL : 050-5211-5234
mail : safety@atelier-inc.com

安全の安心を作る
セーフティインテグレータ
www.atelier-inc.com

2023年9月

■ 活動を立ち上げるための支援

業務と一体化する計画策定

会社の方針、安全目標と一貫性があり、業務に活かすアセスメントを支援します。形だけのアセスメントではなく、関係者を巻き込みながら、安全な労働環境を築く計画を策定します。

手厚いスターターキット

何から手をつけたらよいかわからない。そんな時のためにアセスメントのフォーマット、危険性と想定される災害の参考リストを提供し、活動を始めやすくします。

■ リスクアセスメントを促す仕組み

実際に少しやってみせて納得

実際に進めようとしたら、具体的な書き方に戸惑い進まないといったことはありませんか？ このような場面において、見本を提示し、考え方を説明することで捗るようにします。

躓く場面で全力バックアップ

リスク評価基準はこれでよいのか？ リスクの評価結果はこれでよいのか？ 迷ったり、意見がまとまらないことはありませんか？ このような場面での“道筋作り”、“交通整理”を支援します。

■ 対象業務を促す結果の活用

人を動かす優れた方策を提案

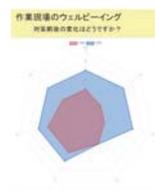
リスク低減方策が教育に偏りがちではありませんか？ 教育は必要ですが、人の行動特性を踏まえ、安全行動を促す方策を提案します。また、機器や作業環境の改善を支援します。

関係者への説明を専門サポート

リスクアセスメント結果を関係者に説明する機会が苦勞していませんか？ 合議のための説明資料作成を支援します。社内規定や安全規格を踏まえ、リスク低減状況を説明できるようにします。

■ 活動を支援するツール群

現場の危険性を効率よく収集してデータベース化、状況を可視化する「リモートアセスメントツール」、リスク低減方策の作業員への影響を評価するウェルビーイングアセスメントツールなど、活動の効率・効果を高めます。



株式会社アトリエ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5
TEL : 050-5211-5234
mail : safety@atelier-inc.com

安全の安心を作る
セーフティインテグレータ

www.atelier-inc.com

2023年9月